

令和4年度 進路だより

わくわくワーク 第4号

令和4年12月23日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

冬至も過ぎ、今年も残りわずかとなってきました。今回は、11月に行われた本校の進路支援に関する活動についてお知らせします。

「小学部進路説明会」(11月28日開催)

小学部5・6学年の保護者を対象に進路説明会を行いました。

小学部主任からは、「本校及び小学部の進路支援」や「中学部の学習」について説明しました。6年生では「もうすぐ中学生」などの中学部の学校生活について知る学習を行うことや、6年生の4月に進路希望調査を行うことなど、進路について保護者が関わる行事についてもお伝えしました。



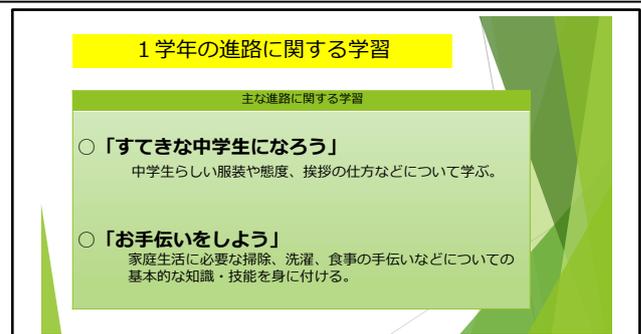
進路支援部からは、「本校の進路状況」「高等部卒業後の進路先」「将来に向けて身に付けたい生活スキル」について説明しました。6月の校外就業体験で、実際に各事業所で作業をしている映像を見ていただき、小学部段階で身に付けたいスキルについてお伝えしました。

参加された保護者からは、「自分のことは自分でできるようにしていかなければと思った。」「チェックリストを使ってみたい。」などの感想が聞かれました。

「中学部進路説明会」(11月29日開催)

中学部1・2学年の保護者を対象に行いました。

中学部主任からは、本校の生活単元学習などでの進路に関する学習の取組と特別支援学校高等部の入学者選抜の日程や、保護者向けの進路に関する行事予定について説明しました。



進路支援部からは、「高等部卒業後の進路について」、「就労に向けた今後の学習」、「将来に向けて身に付けたい生活スキル」の3点について説明しました。「卒業後の進路について」では、障害福祉サービスごとの特色をお伝えするとともに、高等部の校外就業体験の様子を映像をまじえて紹介しました。

参加された保護者からは、「高等部進学における流れを理解することができて良かった。」や「子どもの将来を考えるきっかけとなった。」などの感想が聞かれました。

参加された保護者からは、「高等部進学における流れを理解することができて良かった。」や「子どもの将来を考えるきっかけとなった。」などの感想が聞かれました。

第2回高等部就業体験（11月8日～19日）

就業体験は生徒の将来の進路を考える上で非常に大切な学習活動です。一人一人の自立と社会参加に向け、ステップアップできた体験となりました。体験の様子を紹介します。

1年生 校内就業体験

＜内容＞校内清掃、クリーニング、製品作り、ワークトレーニングなど
＜作業の様子＞

第1回に引き続き、清掃班と受注班に分かれて、前半は各種作業のスキルアップに努め、後半は先生方からの依頼や注文を受けての作業を行いました。先生方から「ありがとう。」「うれしいです。」などの言葉をたくさんいただき、働く喜びを感じる機会となりました。



2年生 あすなろ（生活介護事業所）

＜内容＞ビーズ通し、ウォーキング、施設内の清掃など
＜体験の様子＞

ビーズ通しでは、直径2mm程度のビーズを決められた色の順番に従ってワイヤーに通していきました。細かい作業でしたが集中して取り組みました。午後は、ウォーキング、癒しセラピー（足湯）などの活動を体験し、職員の方や利用者の方とリフレッシュして過ごしました。



2年生 おわらの里（就労継続支援B型事業所）

＜内容＞はと麦の皮むき、堆肥まき、除草など
＜体験の様子＞

アマランサスの実を取る作業では、実をつぶさないように注意しながら、丁寧に取り組みました。里芋の泥落としでは、利用者さんと一緒に取り組み、終わりの片付けまで協力して行いました。いろいろな作業を体験させていただき、充実した就業体験となりました。



3年生 ヴィストジョブス富山駅前店（就労継続支援B型事業所）

＜内容＞製品封入、シール貼り、施設内の清掃
＜体験の様子＞

製品封入では、缶バッジやキーホルダーなどを裏表や上下の向きに気を付けながら袋に入れました。施設内の清掃では、決められた手順ややり方を守って、トイレや廊下の掃除を行いました。職員の方の指示を聞いて、集中して作業に取り組みました。



3年生 いずみ（就労継続支援A型事業所）

＜内容＞施設内や施設外での部品組立、カフェやスーパーでの作業など
＜体験の様子＞

部品の組立などの軽作業、カフェでの下膳や盛り付け、スーパーでの袋詰めなどいろいろな作業を体験しました。一つ一つの仕事のやり方を確認し、分からないことは質問して、正確に作業をしました。利用者の方とも協力し、たくさん仕事を行いました。



就業体験を終えて

事業所の方にいただいたアドバイスを紹介します。

- ・丁寧な言葉遣いができるとよいです。
- ・分からないことは、分からないと言えるとうよいです。
- ・自分から「発信」する機会を増やしてください。

いただいたアドバイスを基に、学校と家庭で連携して今後の支援に生かしていきたいと思います。

